

労働生産性の向上により達成する目標及び目標設定の考え方

<労働投入量>

業務名など※	効果測定期間中の労働投入量			前年同期の投入量			削減量
	投入量 (人・h)	人数 (人)	時間数 (h)	投入量 (人・h)	人数 (人)	時間数 (h)	
管理部門	54	3	18	180	3	60	126

※「業務名など」は、②の対策の内容に応じて、対象となる部門、作業、事業所全体など適宜設定してください。

<目標（効果測定）値及び効果>

改善事項	単位	効果測定期間中の 目標値（効果測定値）			前年同期の数値			1人当たり効果
		効果測定期 間の 目標値	労働者数 (人)	1人 当たり	期間中の 数値	労働者数 (人)	1人 当たり	実数
長時間労働の削減 (所定外労働時間数)	時間	24	3	8	126	3	42	34
有給休暇の取得促進 (有給休暇取得日数)	日	6	3	2	3	3	1	1
その他 ()								

<改善目標>
 ・長時間労働の削減、年次有給休暇の取得促進といった、仕事と生活の両立につながる指標と数値目標を設定してください。
 <目標設定の考え方>
 <取組の範囲>や<目標値及び効果>における数値の設定の考え方について、以下の点に留意して記載してください。
 ・多様な働き方推進における課題の状況を踏まえ、どのように取組の範囲（部門、作業、事業所全体）や改善事項を設定したのかの経緯
 ・導入する機器、設備により、どのように労働生産性が向上し、上記の課題への改善効果が生じるのか。
 ・上記の効果により、どのように上記改善事項の指標が改善するのか。

<目標設定の考え方>

<改善目標>
 対象労働者3名について
 ○管理部門の所定外労働時間数を27時間に削減する。
 ○効果測定期間中の年次有給休暇取得日数を一人あたり1日増加させる。

<目標設定の考え方>
 ○ネットショップの定型業務で、毎日、メーカーから納品される商品をネットショップのネット販売システムに1日3回アップロードする作業と、受注メールの仕分け、受注管理表への転記について、手作業で電話の問合せ対応の合間に行っており、所定時間外労働が毎日長時間発生していました。
 ○そこで、上記の定型作業をRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）により、作業工程をロボットによる自動処理に置き換えることにより、作業時間の短縮など業務の効率化を図ります。
 ○RPAの導入により、上記作業の担当者の作業時間の短縮するとともに、メインとなる電話問合せ対応業務に集中できることで、管理部門全体で労働投入量の大幅削減を図ることで、所定外労働時間を削減します。
 ○また時間単位年次有給休暇制度を導入することにより、年次有給休暇を取得しやすくすることで、労働投入量の削減と相まって、年次有給休暇の取得日数を倍増させます。
 ○RPAの導入により効果測定期間中の労働投入量を126時間削減（一人当たり42時間削減）する。
 ○削減分のうち
 ・102時間分は所定外労働時間数の削減（一人あたり34時間削減）にあてる。
 ・24時間分を年次有給休暇の取得日数を一人あたり1日増加（当社所定労働時間は1日8時間）にあてる。

※このページは、交付申請時には記入不要です。

＜達成値及び効果＞※実績報告書提出時のみ記入

改善事項	単位	効果測定期間中の達成値			効果測定期間中の目標値		
		達成値	労働者数(人)	1人当たり	目標値	労働者数(人)	1人当たり
長時間労働の削減 (所定外労働時間数)	時間	12	3	4	24	3	8
有給休暇の取得促進 (有給休暇取得日数)	日	6	3	2	6	3	2
(その他)							

＜達成状況＞ ※実績報告書提出時のみ記入

・RPAの導入により、生産性が向上した結果、ネットへのアップロード作業が1日あたり90分程度短縮し、また、受信メールの仕分け、帳簿への転記作業が50分程度短縮した。今ではこうした定型業務が1日あたり40分程度で終了し、電話問合せ対応業務に集中できるようになった。

・このため、管理部門の対象労働者3名の効果測定期間中における所定外労働時間数は前年度の126時間から本年度は12時間にまで大幅に短縮を実現し、当初目標を上回る実績を達成した。

・また、時間単位休暇制度の導入により、年次有給休暇が取得しやすくなったことと生産性向上が相まって年次有給休暇の効果測定期間中における一人あたりの取得日数は前年度の1日から、本年度は2日へ増加を実現し、当初目標通りの実績を達成した(年次有給休暇取得率60%増)

※取組実施による達成状況について、数値、従業員アンケート等などを実施するなどにより具体的に記載ください。(取組月の前年同月又は前月の状況についても記載ください。)。また、目標未達成の場合は、その理由及び今後の改善計画も含めて記載してください。